

2030年まで 充電器30万口設置



設置が進む充電器

経産省は、2030年までに新車販売で電動車・EV100%の目標に向け、インフラとしての充電器の設置をさらに加速させる。充電インフラ整備促進に向けた目標を策定した。これは、2030年までに公共用の急速充電器3万基を含む充電インフラを15万台設置することを目指す。また、新たな目標として、2030年までに30万台、総数・総出力数を現在の10倍引き上げることを示した。充電器の整備は、電気自動車の普及の鍵となる。更新のしなやかで、業界界の追い風になると期待される。

盤業界には追い風

公共用充電器を整備していく方針を示した。具体的には、2030年までに充電器の口数は、公共用急速充電器3万台を含む30万台を整備し、公共用充電器の平均出力は現在の40kWから80kWに倍増し、充電器全体の総出力も現在の39万kWから、約10倍の400万kWを目指すとした。また、充電器の設置場所は、高速道路の道の駅、S.S.、コンビニ、スーパー、ガソリンスタンド、駅、商業施設、公共施設、住宅街、集合住宅、月極駐車場などに設置する。

指針によると、現在の急速充電器の平均出力は40kWで、普通充電は3kWが大半。また日本の自動車の使用量は、1日の平均走行距離は50km以下が90%を占め、自動車自体も軽自動車40%を占めている。これらから、今後充電器の設置台数と口数の拡大、総出力の増強が必要。一方、電池容量や充電速度が比較的に小さめで良いため、集合住宅などの普通充電器の整備と、高速道路などの急速充電器の整備を進め、基礎充電ができる環境を構築しつつ、

急充電器は、高速道路の道の駅、S.S.、コンビニ、スーパー、ガソリンスタンド、駅、商業施設、公共施設、住宅街、集合住宅、月極駐車場などに設置する。また、充電器の設置場所は、高速道路の道の駅、S.S.、コンビニ、スーパー、ガソリンスタンド、駅、商業施設、公共施設、住宅街、集合住宅、月極駐車場などに設置する。

急充電器は、高速道路の道の駅、S.S.、コンビニ、スーパー、ガソリンスタンド、駅、商業施設、公共施設、住宅街、集合住宅、月極駐車場などに設置する。また、充電器の設置場所は、高速道路の道の駅、S.S.、コンビニ、スーパー、ガソリンスタンド、駅、商業施設、公共施設、住宅街、集合住宅、月極駐車場などに設置する。

上期決算は増収増益

安川電機

安川電機は2024年2月期上期決算を発表し、売上高は前年同期比9.7%増の2,889億7,800万円、営業利益は5.8%増の330億2,000万円、純利益は3.5%増の247億3,000万円の増収増益となった。セグメント別では、モーションコントロールの売上高は12.9%増の83.69億円、営業利益は29.3%増の20.4億2,100万円、売上高に占める割合が17%となった。ACサーボモーター、コントローラ事業は、中国の太陽エネルギー製造業の投資が底堅く、ハイブリッドの増収増益に貢献している。

半導体・電子部品向けの需要は減速して売上・利益共に減少、インバータ事業は生産正常化と受注増加を推進し、売上・利益共に増加した。ガス関連のHVAC関連は好調で、ASEANやインドでも売上・利益共に増加した。ロボット・自動化の売上高は8.7%増の1,288億1,000万円、営業利益は97.5%増の1,335億5,600万円、売上高に占める割合が46%となった。ACサーボモーター、コントローラ事業は、中国の太陽エネルギー製造業の投資が底堅く、ハイブリッドの増収増益に貢献している。

急充電器は、高速道路の道の駅、S.S.、コンビニ、スーパー、ガソリンスタンド、駅、商業施設、公共施設、住宅街、集合住宅、月極駐車場などに設置する。また、充電器の設置場所は、高速道路の道の駅、S.S.、コンビニ、スーパー、ガソリンスタンド、駅、商業施設、公共施設、住宅街、集合住宅、月極駐車場などに設置する。

急充電器は、高速道路の道の駅、S.S.、コンビニ、スーパー、ガソリンスタンド、駅、商業施設、公共施設、住宅街、集合住宅、月極駐車場などに設置する。また、充電器の設置場所は、高速道路の道の駅、S.S.、コンビニ、スーパー、ガソリンスタンド、駅、商業施設、公共施設、住宅街、集合住宅、月極駐車場などに設置する。

提言

日本の製造業 再起動に向けて

●104●

アナック株式会社(ANUCK CORPORATION)は、誰でも知るロボットメーカーである。ロボット王国日本を代表するANUCKロボットは全世界に販売されており、性能は折り紙つきである。その技術力は、アナック創業以来のNCやサーボの優れた基本技術に支えられており、その歴史は長い。長い歴史の中で、ANUCKロボットは100万台が販売されている。アナック経営幹部のA氏は、『50万台の40年かかったが、最近6年間で50万台が売れた』と語っている。直近6年間で急速に売上げを伸ばし、衝撃の事実をもとに、ロボット需要の急増と未来予想を説明してきた。

株式会社アルファTKG社長 高木 俊郎

FANUCロボット 100万台実績の衝撃 【ロボ(協働)ロボット】元年への期待

この2年、産業の発展と軌を一にしてロボット産業は発展してきた。歴史を振り返れば、日本の自動車や電機の大手工場は、世界に先立ち積極的に自動化を進めた。この旺盛な自動化需要を背景に、日本はロボット導入台数が世界に輝いていた。この2年、産業の発展と軌を一にしてロボット産業は発展してきた。歴史を振り返れば、日本の自動車や電機の大手工場は、世界に先立ち積極的に自動化を進めた。この旺盛な自動化需要を背景に、日本はロボット導入台数が世界に輝いていた。

この2年、産業の発展と軌を一にしてロボット産業は発展してきた。歴史を振り返れば、日本の自動車や電機の大手工場は、世界に先立ち積極的に自動化を進めた。この旺盛な自動化需要を背景に、日本はロボット導入台数が世界に輝いていた。

この2年、産業の発展と軌を一にしてロボット産業は発展してきた。歴史を振り返れば、日本の自動車や電機の大手工場は、世界に先立ち積極的に自動化を進めた。この旺盛な自動化需要を背景に、日本はロボット導入台数が世界に輝いていた。

この2年、産業の発展と軌を一にしてロボット産業は発展してきた。歴史を振り返れば、日本の自動車や電機の大手工場は、世界に先立ち積極的に自動化を進めた。この旺盛な自動化需要を背景に、日本はロボット導入台数が世界に輝いていた。

この2年、産業の発展と軌を一にしてロボット産業は発展してきた。歴史を振り返れば、日本の自動車や電機の大手工場は、世界に先立ち積極的に自動化を進めた。この旺盛な自動化需要を背景に、日本はロボット導入台数が世界に輝いていた。

縦横取り付け可能!
コネクタ端子台
VSFシリーズ

縦横兼用
スリム39mm幅
消えないマーキング
使用周囲温度65°C
Push-in 端子台

www.phoenixcontact.co.jp

VARIOケーブル

超小型コネクタ端子台

2 WAY FIT COMPLETE line

縦横兼用コネクタ端子台

選べる! 使える! 必ずもらえる!
“PLCコネクタ端子台 & VARIOケーブル” セット
プレゼントキャンペーンスタート!

Push-in簡単配線 1台で縦横取り付けOK スリム39mm幅

PHOENIX CONTACT

100 years of passion for technology and innovation

35th ANNIVERSARY

弊社は2023年にドイツ本社創設100周年・日本法人設立35周年を迎えました

PHOENIX CONTACT

100 years of passion for technology and innovation

35th ANNIVERSARY

弊社は2023年にドイツ本社創設100周年・日本法人設立35周年を迎えました

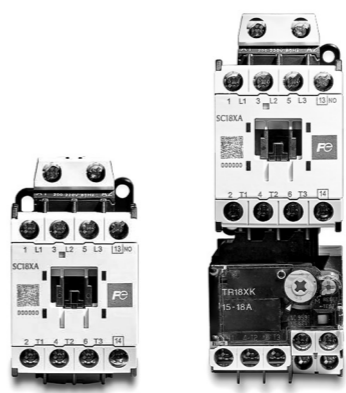
新製品・サービス

最大28%小型化

35年ぶりモデルチェンジ

富士電機機器制御

富士電機機器制御は、電磁接触器・電磁開閉器の新製品「SC-NEXT」シリーズについて、11.18A(AC-3、200V)240Vの容量帯を発売した。



SC-NEXT

同製品は、ベストセラーとして知られる電磁接触器・電磁開閉器の新製品「SC-NEXT」シリーズを55年ぶりにモデルチェンジした新製品。現行品の長寿命・高信頼性の特長を継承しながら、製品外形を小型化し、最大28%のサイズダウンを実現。補助接点は使用用途によって1~4極から選べるようバリエーションを用意し、必要に応じて絞ることのできるスリム化が可能。38AまでPTLからダイレクト駆動ができ、リレーや

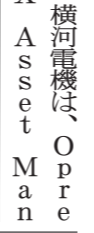


相原電機 軽量、コンパクト化 三相三線乾式トランス

相原電機は、三相三線乾式トランスの新製品「3ECL」シリーズを発売した。同製品は、標準機種「3YSB」に「N3YS」の電圧タップを変更せずに軽量化、コンパクト化したもので、対象容量3kVAの比較では従来比約30%減で12kg

ICコイルが不要となり、小型・高機能化で制御・配電設計の自由度を高めることができ、また環境負荷低減・省エネ化を大膽に向上し、開口部面積を約5%低減して外部からの粉じんが侵入しにくい構造としている。と、異物混入による故障を防ぎ、安定動作と長寿命を実現。消費電力も交流操作形では最大29%、直流操作形では最大73%低減している。接続点やコイルなどの消費部品は交換可能な構造とする。また製品正面にQRコードを搭載し、仕様書・外形図などの製品情報をその場で容易に取得できるものとなっている。また構成するトランスの材料の88%がリサイクル可能で、カーボンフットプリントも削減している。

無線スチームトラップ監視デバイス 点検負荷を低減



無線スチームトラップ監視デバイス「Sensor」は、蒸気輸送管や熱交換器、空調機などに用いられる機器にまたがる凝縮水を排出する自動弁、工場・プラントでは多数のセンサーが設置されている。作業員が巡回点検で監視している。無線スチームトラップ監視デバイスは、動作監視システムの導入が有効だが、導入コストが障壁となっていた。

それに対し同製品は、スチームトラップのメンテナンスを省くことができ、エネルギー損失を低減し、無圧圧センサ、無線温度センサ、無線振動センサを組み合わせたことで、設備監視がこれまで以上に容易になる。別売のデータロギングソフトで、同製品の動作状況をリアルタイムで監視できる。また、工場内にある各スチームトラップの状態を自動判定でき、最高蒸気温度400℃以下の環境で使用できる。長距離無線LoRaWAN通信を探知できる。巡回点検の工数を削減できる。広域に設置される複数の

OTセキュリティ提供 マカオニテは、米Dragon Systems社と代理店契約を締結し、同社のOT(工場)ネットワークの制御システムやセキュリティソリューションを提供している。Dragon Systemsは、米国防省や車におけるOTを扱う政府契約してきた経験豊富なパートナーによって設立され、OTに特化した最新知見、事案分析、攻撃TTP・IoT脆弱性や情報セキュリティ、対策を提言する「Wordview」、OT-WATCHによる分析レポートや脅威インテリジェンス、インシデントレスポンス支援プラットフォーム「Dragon」を、顧客の課題や状況に合わせた製品・サービスの提供、導入後の運用支援を行っている。

NECフアシリテイー 工場の異常予兆検知 新保全サービス開始

NECフアシリテイーは、非常電圧を行う各種インフラ設備の点検・保守業務に、設備の異常予兆検知技術を提供している。同サービスは、工場内の設備にセンサーを設置し、電圧、電流、温度、振動などのデータをリアルタイムで収集・分析し、異常な変動を検知する。これにより、設備の故障を未然に防ぎ、稼働率を向上させることができる。また、センサーの設置やデータの収集・分析は、専用のプラットフォームで行い、運用コストを削減している。

選定や発注の手間を削減し、製品正面にQRコードを搭載し、仕様書・外形図などの製品情報をその場で容易に取得できるものとなっている。また構成するトランスの材料の88%がリサイクル可能で、カーボンフットプリントも削減している。と、異物混入による故障を防ぎ、安定動作と長寿命を実現。消費電力も交流操作形では最大29%、直流操作形では最大73%低減している。接続点やコイルなどの消費部品は交換可能な構造とする。また製品正面にQRコードを搭載し、仕様書・外形図などの製品情報をその場で容易に取得できるものとなっている。また構成するトランスの材料の88%がリサイクル可能で、カーボンフットプリントも削減している。

「H30-SX」を発売した。同製品は、NSP/A N5161認証を取得し、保護構造はIP67。バルブ容積を従来比25%削減、重量は同30%軽量化した省スペース設計とし、コイル力は10%向上、消費電力は14%削減し省エネ性能も向上させた。コイルが回転してリフトを取り出し、設置作業性を高めている。

省スペース設計 SMCは、直動形2ポートレインドバルブ「TLV-20X」を発売した。同製品は、NSP/A N5161認証を取得し、保護構造はIP67。バルブ容積を従来比25%削減、重量は同30%軽量化した省スペース設計とし、コイル力は10%向上、消費電力は14%削減し省エネ性能も向上させた。コイルが回転してリフトを取り出し、設置作業性を高めている。

ミットヨ レーザスキャン 非接触で高精度インライン測定 LSM-02-A/30-A

「H30-SX」を発売した。同製品は、NSP/A N5161認証を取得し、保護構造はIP67。バルブ容積を従来比25%削減、重量は同30%軽量化した省スペース設計とし、コイル力は10%向上、消費電力は14%削減し省エネ性能も向上させた。コイルが回転してリフトを取り出し、設置作業性を高めている。

精度のインライン測定ができるレーザスキャンマイク「LSM-02-A」を発売した。同製品は、インライン測定に特化した非接触による口筒形状の外径・振れなどを高精度で測定可能なインライン測定システムとして、測定精度を向上させている。また、容量帯やオプション類は、今後順次発売していく。

令和の 販売員心得

黒川 想介

現場により変わる「見える化」 主管部との人脈づくりが重要

現場が変わり始めたのは、4次産業革命だと言われる。現場は、生産設備の増設は少ないし人手に頼るという状況が残っているが、自動化しようとするという両面がある。現場は、生産設備の増設は少ないし人手に頼るという状況が残っているが、自動化しようとするという両面がある。

現場が変わり始めたのは、4次産業革命だと言われる。現場は、生産設備の増設は少ないし人手に頼るという状況が残っているが、自動化しようとするという両面がある。

3Dプリンターを1人1台の時代に A.switch Membership Model

ワン、ツー、クローズ icotek smart cable management

電気接触は、WashiON 共立継器におまかせください。商品ラインナップを強化し、お客様のニーズに応えます。お客様の「希望納期」にて対応します!!

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→<https://www.automation-news.jp/category/topics/>

FA業界掲示板

■横河電機・小野寺薫氏がIEC1906賞を受賞

横河電機の小野寺薫氏が、国際電気標準会議(IEC)の「IEC1906賞」を受賞した。同賞は、国際電気標準会議(IEC)における電気・電子技術の標準化活動に大きく貢献した者に対し、IECから与えられるもので、2023年は、世界29か国から219名が選ばれ、日本からは27名が受賞した。

小野寺氏は、工業用プロセス計測制御の標準化を担当するIECの技術委員会IEC/TC65で、プロセスオートメーションに関する専門家として数多くの作業部会において積極的に活動し、その貢献が認められ、後進の優れたロールモデルであるとして今回の受賞に至った。特に、セマンティック相互運用性を実現する国際標準規格IEC62832シリーズ(デジタル・ファクトリ・フレームワーク)の策定をはじめ、スマートマニュファクチャリングに関わる標準化活動に大きく貢献してきた。

■昭電・垣内健氏がIEC1906賞を受賞

昭電対策システム部の垣内健氏が、国際電気標準会議(IEC)の「IEC1906賞」を受賞した。国際標準化活動への長年の積極的な取り組みと多大な貢献が高く評価された。

■アズビル、JCSS校正事業者の新たな認定取得と認定範囲を拡大

JCSS(Japan Calibration Service System、計量法に基づく校正事業者登録制度)の校正事業者として登録されているアズビル技術標準部計測標準グループは、流量・流速(微小用流量計)に加え、流量・流速(気体用流量計)で新たに登録・認定され、圧力(真空計)の登録・認定範囲も拡大した。

計測範囲は、流量・流速では、気体用流量計(臨界ノズル)0.1L/min~200L/min、気体用流量計(流量計)0.1L/min~500L/min。圧力では真空計0.1Pa~133.32kPa。

国際的にも通用する計測トレーサビリティの体制を構築したことで、同社製デジタルマスフローコントローラ形MQV・形F4Q・形F4H、気体用マスフローメータ形CMS、ファイバ隔膜真空計形V8などの製品の品質に、より高い信頼性を付与できるようになった。

■EPLAN、電気CAD部品ポータルサイトに音羽電機工業と日本ビスコ製品を登録

EPLANが運営する電気CAD部品ポータルサイト「EPLAN Data Portal」に、音羽電機工業と日本ビスコ製品が登録された。

EPLAN Data Portalは、世界中の部品メーカーが日々自社の部品データを管理し、ユーザーのためのデータベースに定格や3Dレイアウト図などを公開し、ユーザーはそのデータを設計・製造に活用できるというもので、現在、世界の465社・150万3859点が登録されている。このたび音羽電機工業と日本ビスコのデータが新規掲載を開始した。



音羽電機工業と日本ビスコのデータが登録された。EPLAN Data Portalは、世界中の部品メーカーが日々自社の部品データを管理し、ユーザーのためのデータベースに定格や3Dレイアウト図などを公開し、ユーザーはそのデータを設計・製造に活用できるというもので、現在、世界の465社・150万3859点が登録されている。このたび音羽電機工業と日本ビスコのデータが新規掲載を開始した。

音が新規掲載を開始した。音羽電機工業の装置用SPD「LT-CシリーズLT-C32G801W」は、切り離し装置内蔵/SPD機能表示付きで、コンパクトで省スペース化でき、線間と対地間の誘導雷サージを一台で保護する線間、対地間一体型。安心な雷サージ耐力を持ち、最大放電電流5kA(8/20μs)で、大きな雷サージにも壊れにくいものとなっている。

■オブテックス・エフエー、現場川柳の本を103人にプレゼント

オブテックス・エフエーは、現場川柳が10回を迎えることを記念して、2023年5月に発売した現場川柳の最新刊「ものづくり現場の作業着日記(編・現場川柳委員会、マンガ・見野栄司)」を103人にプレゼントする。

■北陽電機、WEBサイトで事例公開「協働ロボットの二重安全対策」

北陽電機は、同社WEBサイトで3次元測域センサの導入事例として「協働ロボットの二重安全対策」を公開した。

セーフティレーサスキャナの防護領域だけでは、水平面での監視になるため、人が急に手を出したりなどの3次元領域のスキャンができなかったが、3次元測域センサにより幅広い警告領域を状況把握することで、ロボットの稼働領域や速度を制御し、安全対策をより強化することができるとしている。



■サトーパーツ、11月8日から幕張メッセ「鉄道技術展」に出展

サトーパーツは、11月8日から10日まで幕張メッセで行われる「鉄道技術展」に出展する(ブースR-71)。先端交換・組み合わせ自在のKISEKAEチップにパリエーションが増え、バナナプラグに適合するターミナル、中継ヒューズホルダーにコンパクトな判子ケース型、高容量端子台など新商品を展示する。

■リタール、ブログ公開「IEC60529規格とは何か?一保護性能試験の種類と試験方法」

リタールは、ブログ記事「IEC60529規格とは何か?一保護性能試験の種類と試験方法」を公開した。「IEC60529規格」は、電気機械器具の筐体・キャビネットに対する保護性能評価についての国際規格で、この規格に従って行われる保護性能試験は、製品の安全性と信頼性を保証するために欠かせない。ブログ記事では、IEC60529規格の詳細や、保護性能試験の種類と試験方法について解説し、電気機械器具の評価に関する国際規格「IEC62208」にも触れて2つの規格の相違点や関係性について紹介している。

■明電舎、電動ミニショベル用コンポーネントをコマツに納入 進む建設機械の電動化

明電舎は、コマツの3トンクラス新型電動ミニショベル向けに動力源となる電動コンポーネントの納入を開始した。コマツは2023年度を電動化建機の市場導入元年と位

置付けており、3トンクラスの電動ミニショベルに、明電舎のバッテリーからの電力を交換・制御する「インバーター」、油圧ポンプの動力源となる「モーター」、車両の電装品に電力を供給する「電源コントローラー」が搭載されることとなった。明電舎が建機向けに電動コンポーネントを納入するのは今回が初めて。

■パナソニックインダストリーとカナダ・Meta Materials Inc.が次世代透明導電ソリューション創出で協業

パナソニックインダストリーとカナダの先端材料・ナノテクノロジー企業のMeta Materials Inc.は、次世代の透明導電ソリューション創出に向け、設計から量産における戦略的協業を行う。

META社は、透明導電材料業界におけるリーディングソリューションプロバイダーで、電極のメタルメッシュ設計技術に強みがあり、パナソニックインダストリーは、低抵抗かつ高い透過率の透明導電フィルムを2018年から量産している。今回の協業により、METAの持つ独自メタルメッシュ設計を、パナソニックインダストリーの独自プロセス技術で具現化することで透明アンテナ、透明ヒーター、透明電磁波シールドなど車載・民生機器向けの次世代透明導電ソリューションの創出が可能となる。

■東芝インフラシステムズ、阪急電鉄新型車両にPMSM駆動システムなど最新システムが採用

東芝インフラシステムズは、阪急電鉄の新型車両にPMSM駆動システムなど最新システムが採用された。今回受注したのは、阪急電鉄の新型車両2000系車両の全閉型永久磁石同期電動機とAll-SiC(シリコンカーバイド)素子を適用したVVVFインバータ装置注3を組み合わせた駆動システム、2000系と2300系車両の車両情報制御システム(TCMS)、主幹制御器、空調装置。

■コンテック、最短3日で出荷する産業用PCの短納期キャンペーン

コンテックは、産業用PCや周辺機器を最短3日で出荷する短納期キャンペーンを実施している。名刺2枚サイズのウルトラコンパクトPC「BX-U200」や厚み約3mmのA5サイズのスリムPC「BX-T210」、Wi-Fi+Bluetoothモデル「BX-T210R」、ハイパワー・高拡張性PC「BX-M2500」などファンレス組み込み用PCのほか、NVIDIA Jetson組み込み用PCとして、Jetson Xavier NXファンレス・エッジAI「DX-U1210」を短納期で提供している。

■エムシステム技研、計装マガジン「エムエスツデー」10月号を発行

エムシステム技研は、計装マガジン「エムエスツデー」10月号を発行した。10月号では、山口県岩国市東洋紡岩国事業所のPID実習プラント「プラントレット」採用事例や、製品レビューとしてイーサネット信号をツイストペアケーブルで最大1000m伝送できる新製品「METATRONシリーズ」の紹介をはじめ、既設設備の電力と漏電を監視して省エネと安全の実現、既設のテレメータシステムをインターネットに接続するIPインバータなどを掲載している。



流通・商社トピックス

■ドーワテクノス、新工場「TSUNAGU FACTORY」のロゴデザイン決定

ドーワテクノスは、価値創造型ビジネスモデル構築のための施設「TSUNAGU FACTORY」の新設に伴い、北九州市内の学校に通う学生を対象にロゴマークを公募し、全113点の中から受賞作品が決定した。大賞は、福岡県立八幡中央高等学校権藤昭穂さんの作品が選ばれた。



■サンワテクノス、10月1日付で組織変更 PCイノベーション部設置

サンワテクノスは、10月1日付けで組織変更を行い、「ソリューション営業部」を廃止し、新たに「PCイノベーション部」を設置した。PCイノベーション部はパソコンやモーション・無線分野中心の顧客課題解決を目指した技術イノベーションを担う組織とする。

また「業務本部」管轄下の組織を再編し、「名古屋サービスセンター」「業務管理部」「物流部」「キャッシュフロー管理室」「センター長付」「業務本部付」「香港物流センター」を廃止し、「業務推進部」「物流企画部」「管理部」を設置。「名古屋サービスセンター」「東京サービスセンター」「九州サービスセンター」については拠点名称のみとなる。

■ソルトン、ストーブリ社製大電流コネクタが工学院大学ソーラーチームの新車両「Koga」に搭載

ソルトンは、同社が取り扱っているストーブリ社製大電流コネクタが、工学院大学ソーラーチームの新車両「Koga」に搭載された。ストーブリ社の大電流コネクタは限られた省スペースで発熱や接触抵抗を抑えながら多くの電流を流したいというニーズにマッチしている産業用コネクタで、業種を問わずあらゆる分野で使われており、特にEVや太陽光発電、バッテリー関連では需要が増加している。

セミナー・イベント情報

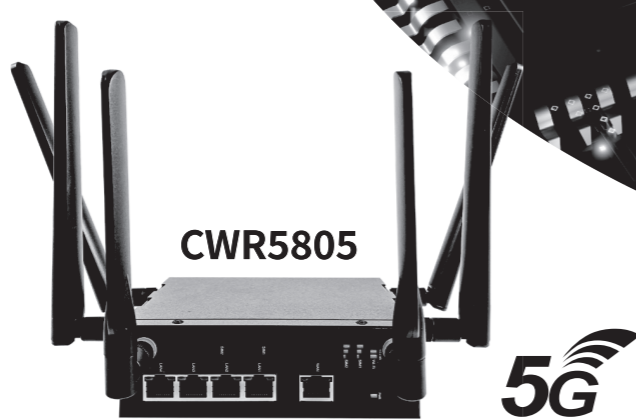
■北陽電機、オンデマンドセミナー「3D測域センサYLM-X001 解説セミナー」公開

北陽電機は、オンデマンドセミナー「3D測域センサYLM-X001 解説セミナー」を公開した。AGV・AMRなど自律移動ロボットの目となる測域センサ(LiDAR)について、同社はLumotive社のLCM技術を使って、メカを一切使用しないソリッドステート3D測域センサ(LiDAR)を共同開発。セミナーでは、プロトタイプモデル(2023年7月供給開始)について特徴や新しい価値を紹介する。



簡単・高速・広帯域 LTE&5G対応 メッシュWi-Fi 産業用ルーター

ローカル5G
産業自動化
IIoT



by BlackBear TechHive

BlackBear TechHive Japan株式会社
〒東京都千代田区丸の内1-1-3 日本生命丸の内ガーデンタワー3F
☎ 03-4530-3390 © www.atoponline.com/ja



MADE in MARKET

現地で開発。現地で製造。

EASYTITE MECHATRONICS (WUXI) CO., LTD.

OTAX SHANGHAI LIMITED

OTAX KOREA CO., LTD.

OTAX CO., LTD.

OTAX ELECTRONICS (SHENZHEN) CO., LTD.

AUTOSYS INTELLIGENT EQUIPMENT CO., LTD.

OTAX SEIKI (GUANGDONG) CO., LTD.

OTAX HONG KONG LIMITED

OTAX ELECTRONICS (THAILAND) CO., LTD.

OTAX MALAYSIA SDN.BHD.

DIPスイッチ

スライド
ピアノ
ロータリー

操作スイッチ

トグル
ロッカー
押ボタン

金属加工関連

アルミニウム加工
MIM・精密ネジ

コネクタ

各種コネクタ
テストソケット

ヘルスケア

医療機器
ウェアラブル

端子台

FA用
エアコン用

otax オータックス株式会社 TEL : 045-543-5621
HP : www.otax.co.jp

本社 : 〒223-8558 神奈川県横浜市港北区新町1215

JEP、通常総会開催 ECU Show 出展へ

全国電子部品流通連合会(JEP)、屋敷芳高会長は第49回通常総会を東京カインパルスで10月18日開催し、2022年度事業報告、および収支決算、23年度事業計画、収支予算などを審議し承認した。

総会には会員56社から144人(委任状を含む)が出席した。冒頭、屋敷会長が「新型コロナウイルスも海外からの観光客が増えている。部品も入手できなくなっている。増え、在庫がなくなっている」と述べ、ECU Showへの出展を呼びかけた。

総会では、松本理事から22年度の市況と事業報告が行われ、委員会の活動報告が組織委員会(平松達弥委員長)、教育情報委員会(藤巻宏直委員長)、流通強化委員会(川崎孝明委員長)、労務委員会(市村保徳委員長)の順で行われた。さらに、鳥居和久会計理事から収支決算報告が、中西日出監事から監査報告がそれぞれ行われ承認された。

続いて、23年度事業計画案が松本理事と渡辺勤事務局長から、収支予算案が鳥居和久理事から説明があった。

役員の一部変更も行われ、創設者の小口公士氏(菅野、サンテックテクノロジ)の中川遊英氏が新理事に就任した。23年度は、引き続きEATCへの協賛と、電子機器・トータルソリューション展での「EIoT Show」への出展を行う。

総会終了後、6つの単組から地区報告が行われ、特別講演会は、トランス・ニュー・テクノロジーの木村光龍代表取締役が「中小企業生成AI活用について」と題して行われた。

第49回通常総会
全国から会員が出席したJEP総会

技術報告書における表とグラフ/図のキャプションの違い

技術報告書で必須ともいえる表やグラフ/図の表記。このように表やグラフ/図の説明文として記載されるのが「キャプション」と呼ばれるものである。技術報告書ではこのキャプションを適切に記載することが求められるが、若し技術者の中にはその基本を理解していないケースも散見される。

キャプションは「表の上、グラフ/図は「グラフ/図の下」に記載します。これは、技術報告書に限らず中高生の各レポートにももちろん、学術論文でも一緒です。

一般的には中高生の授業、大学では博士課程の研究に加え、卒業研究や研究室で必ず指導されるポスターといえます。このように基本ができていないと、技術報告書の中身以前にその体裁が整っていないという印象を与えてしまうのです。

よって、社内の技術報告書はもちろんだが、委託業務の結果報告書で顧客に提出する結果報告書でもしっかりと、顧客からの技術的な疑問を疑われないように記載する必要があります。

キャプションは「表の上、グラフ/図は「グラフ/図の下」に記載します。これは、技術報告書に限らず中高生の各レポートにももちろん、学術論文でも一緒です。

一般的には中高生の授業、大学では博士課程の研究に加え、卒業研究や研究室で必ず指導されるポスターといえます。このように基本ができていないと、技術報告書の中身以前にその体裁が整っていないという印象を与えてしまうのです。

よって、社内の技術報告書はもちろんだが、委託業務の結果報告書で顧客に提出する結果報告書でもしっかりと、顧客からの技術的な疑問を疑われないように記載する必要があります。

製造業・世界と戦う担い手づくり エキスパート待望

技術報告書で必須ともいえる表やグラフ/図の表記。このように表やグラフ/図の説明文として記載されるのが「キャプション」と呼ばれるものである。技術報告書ではこのキャプションを適切に記載することが求められるが、若し技術者の中にはその基本を理解していないケースも散見される。

キャプションは「表の上、グラフ/図は「グラフ/図の下」に記載します。これは、技術報告書に限らず中高生の各レポートにももちろん、学術論文でも一緒です。

一般的には中高生の授業、大学では博士課程の研究に加え、卒業研究や研究室で必ず指導されるポスターといえます。このように基本ができていないと、技術報告書の中身以前にその体裁が整っていないという印象を与えてしまうのです。

よって、社内の技術報告書はもちろんだが、委託業務の結果報告書で顧客に提出する結果報告書でもしっかりと、顧客からの技術的な疑問を疑われないように記載する必要があります。

客観的事実を 分かりやすく

技術者育成において最も重要な基本となるのは、客観的事実を分かりやすく伝えることです。技術報告書では、客観的事実を分かりやすく伝えることが求められます。

技術者育成において最も重要な基本となるのは、客観的事実を分かりやすく伝えることです。技術報告書では、客観的事実を分かりやすく伝えることが求められます。

101 急所 備かるメーカー 改善の急所

日本カイゼンプロジェクト 会長 柳内幸夫

急所92で、マーケットの次に求められている時代としてユーザーの時代とユーザーの時代について紹介しました。そこで今回は、ユーザーの時代に求められる急所について、101の急所を紹介したいと思います。

急所92で、マーケットの次に求められている時代としてユーザーの時代とユーザーの時代について紹介しました。そこで今回は、ユーザーの時代に求められる急所について、101の急所を紹介したいと思います。

急所95 付加価値を付ける方法

機械は製品をつくるが、人の手は価値をつくる。

急所95 付加価値を付ける方法

機械は製品をつくるが、人の手は価値をつくる。



柳内幸夫(きよひろ) 1951年東京生まれ。1975年東京工業大学工学部卒業。1976年三菱重工業に入社。1985年三菱重工業技術研究所長。1995年三菱重工業技術研究所長。2005年三菱重工業技術研究所長。2015年三菱重工業技術研究所長。2020年三菱重工業技術研究所長。2023年三菱重工業技術研究所長。

サービスロボット国内市場調査 人手不足背景に導入増加 外食産業で「配膳」急拡大

■配膳ロボット(累計稼働台数)

	2023年見込	2022年比	2030年予測	2022年比
全体	9,252台	148.20%	3万 890台	4.9倍
飲食店	8,800台	146.70%	2万5000台	4.2倍
小売店	95台	190.00%	2,200台	44.0倍
宿泊施設	280台	186.70%	2,800台	18.7倍

※飲食店、小売店、宿泊施設は全体の内数

■デリバリーロボット(施設内)(累計稼働台数)

	2023年見込	2022年比	2030年予測	2022年比
全体	160台	149.50%	3,030台	28.3倍
小売店	25台	2.1倍	800台	66.7倍
宿泊施設	50台	166.70%	580台	19.3倍
病院	65台	130.00%	1,200台	24.0倍

※小売店、宿泊施設、病院は全体の内数

人手不足が深刻化していることから導入増加が予想される。施設内デリバリーロボットは22年は160台の見込みだが、30年には22年の28.3倍の3030台になる見込み。

小売店や宿泊施設、病院で採用が進み、配膳業務をロボットに代替する。スタッフは本来の作業に集中できることから導入が広がっている。

小売店ではショッピングセンター内のテナントへの郵便物配達や伝言カードの配達が実証実験が進み、病院では物品配送をロボットに代替する。客室への荷物配達やリネン配送で活用が始まっている。しかし、いずれもエレベーターとの連携が必須で、システム連携のコスト削減が望まれている。

急所95 付加価値を付ける方法

急所95 付加価値を付ける方法

機械は製品をつくるが、人の手は価値をつくる。

急所95 付加価値を付ける方法

機械は製品をつくるが、人の手は価値をつくる。

tu na ga ru
ユーエイツナガルシステム

Powered by EnOcean Self-powered IoT

IoT × キャスターが世界を変える

ツナガルシステム 特設サイトをチェック

www.yuei-group.com

株式会社 ユーエイ

停電に強い電源づくり。

災害時での電源停止を未然に防ぐ。100年企業のノウハウをこの製品に盛り込んでいます。2つの電源を安全に切り替える機能が1台にすべてパッケージされています。

太陽光や発電機を停電時でも安心して活用できます
電源自動切替器 ACMS-A
電源容量が選べます。100A 150A 200A 300A 400A

2系統の電源を停電時に自動で切り替える製品です。内蔵切替器は大手蓄電池メーカーの非常用切替に長年採用されています。

詳しくは <https://www.takadass.co.jp/>

TAKADA 切替器専門メーカー 高田製作所 Since1919

すべての仕様書が仕様・外形図・回路図 ホームページからダウンロードできます。

[名古屋]ネブコンジャパン・オートモーティブワールド・スマート工場EXPO・ロボテックス・スマート物流EXPO・グリーンファクトリーEXPO 主な出展企業紹介

[名古屋 ネブコンジャパン]

■ジャパンユニックス

(ブース13-58)

ジャパンユニックスは、「見える」はんだ付けを追求し、新たな挑戦となる「下からレーザーはんだ付け」や、多関節ロボットによるレーザーはんだ付けなどさまざまな製品やソリューションを紹介する。



「下からレーザーはんだ付け」は、レーザーはんだ付けを下から行うもの。搬送ラインにおいて基板の反転が不要になることで治具構想も不要になり、インラインに最適なだけでなく、基板に対してのはんだボール付着を低減し、上部部品面から温度測定を行いながら、はんだのスルーホール充填率を確認するなど工程品質の見える化に貢献する。

また同時に、国際標準化団体のIPCが主催するはんだ付け世界一を決定する大会「IPCはんだ付けコンテスト」を実施するほか、組立品良否判定「IPC-A-610」、国際標準のはんだ付け技術書「J-STD-001」などはんだ付けに関わる規格、技術、トレーニングが記載されているIPC書籍も販売する。

■ブルス (ブース15-38)

ブルスは、産業向けの電源装置を製造・販売しているドイツメーカー。生産ラインに組み込まれる制御用の電源や工作機器、医療機器、プロセスライン、鉄道、船舶など幅広い分野で採用され、近年はIP67に対応した耐環境向けの新しいフィールド電源もリリースしている。



耐環境電源「FIEPOS」は、保護等級IP54/IP65/IP67に適合した分散型フィールド電源。FIEPOS Basicシリーズは、1系統のDC出力を備え、300Wまたは500Wの電力で使用できる。

[名古屋 オートモーティブワールド]

■横河計測 (ブース10-33)

横河計測は、YOKOGAWAグループにおける計測事業の中核会社として産業のマザーツールである測定器ビジネスを展開し、ブースではモーター・インバータのさらなる省電力化と高効率化を支援するための、高性能な測定器を複数連携することによる新たなソリューションを提案する。



統合計測ソフトウェアプラットフォーム「S8000」は、高精度電力計WT5000とスコープコーダDL950、そしてソフトウェアIS8000を組み合わせることで、

信頼性の高い電力測定値と高速電圧/電流波形、モータートルク波形を高精度に同期し、統合測定データとしての表示・解析を実現する。

■アズビル

(ブース32-38)

アズビルは、「製造DXのバックボーンは『自律化』」をテーマに、長年培ったオートメーション技術にIoTやビッグデータ、AI技術を融合することで、今日まで実現が困難とされてきたモノづくり状態の可視化、意思決定やリカバリー対応までを自ら遂行する仮想パートナー「ものづくり自律化システム」を紹介し、新たな「AIと共存する現場」を体験できるブースを展開する。



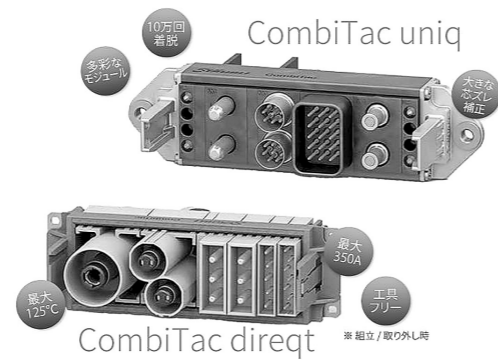
オーダーに基づき無駄のない最も合理的な生産順序を決め、計画に対して遅れを予知予測、必要な対処を貴方に提案する仮想スーパー生産管理マネージャー「自律型生産管理システム (APMS)」、原料、製造工程、製品検査のデータから品質影響因子を自動で導き出し、オンラインで詳細にモニタリングすることで品質変動の予知予測を行い、先回りの対処を貴方に提案する仮想スーパー品質管理マネージャー「自律型品質管理システム (AQMS)」、生産設備の稼働データなどから、リアルタイムに機器状態を可視化することで予兆保全を可能に、劣化指標の特定や劣化予測によりメンテナンス時期を貴方に提案する仮想スーパー設備管理マネージャー「自律型設備管理システム (AEqMS)」を紹介する。

[名古屋 スマート工場EXPO]

■ソルトン

(ブース5-10)

ソルトンは、産業用コネクタのプロ集団として、EV・HEV・FCVならびにバッテリー関連向けの産業用コネクタおよび関連部品の新製品や採用実績品を数多く展示する。



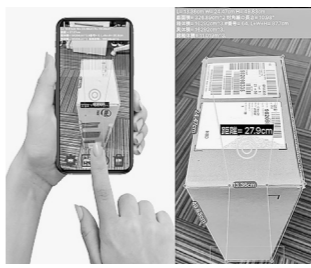
複合コネクタ「コンビタックシリーズ」は、豊富なモジュールにより、用途に合わせて自由に最適な組み合わせが可能なフォロッキング機構付きコネクタ。ロック取り付け用のハウジングなし、防水対応のハウジング付と、それぞれ選択できる。

■IDEC AUTO-ID SOLUTIONS

(ブース30-33)

IDEC AUTO-ID SOLUTIONSは、今日の製造業が抱える課題となっている人手不足、多品種少量、短納期、短ライフサイクルを解決するためのAIや画像認識を活用した各種ソリューションを体験型展示で紹介する。

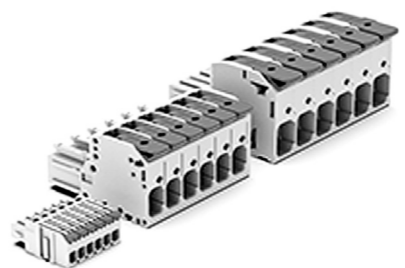
組み立て・検査・検品作業をする人をアシストし、作業手順書をデジタル化し一つ一つの作業の正誤を画像検査結果を自動記録する「AI画像認識作業支援システム」や、スマートフォンでラベルを撮影するだけで、AIがラベルの種類を見分けて必要な箇所だけの文字をOCRする「ラベルAI識別OCR」、LiDAR搭載スマートフォンでアプリを使って箱を撮影するだけで計測時間を大幅削減できる「スマートフォン用採寸アプリ」などを展示する。



■ワゴジャパン

(ブース32-30)

ワゴジャパンは、「基板接続」と「中継接続」どちらも可能なWAGOマルチコネクションシステムに新たに追加されたレバー操作タイプのレバー式マルチコネクションシステム「2734、831、832シリーズ」を展示する。工具不要で、より線もそのまま圧着して結線でき、レバーを押し上げ、被覆をむいた電線を差し、レバーを戻すだけの3ステップ結線。装置・機器のインターフェースに最適。



このほか、CoDeSys V3.5によりIEC 61131-3に準拠したプログラミングが可能コンパクトコントローラ「CC100」、世界最高クラスの変換効率約96%! 高変換効率でCO₂削減につながるサステナブルな電源「WAGOパワーサプライPro2シリーズ」、幅わずか6mmの薄型設計の電子式サーキットプロテクタ「787-3861シリーズ」、+24V/0Vとアース間の地絡を自動検知する「地絡検知モジュール」などを出品する。

また参考出品として、リサイクルプラスチックを使用したサステナブルな製品「ワンタッチコネクタ-Green Range」を紹介する。

■オムロン (ブース29-24)

オムロンは、DX関連新規事業として提供を開始した業務改善サービス「pengu」を紹介する。

penguは、業務自動化ツールと育成プログラムがセットになった業務改善サービス。Excelや紙帳票の提携作業が多くて業務を圧迫している、現場のIT化が進まない、進められる人もいない、常に人手が足りない、非効率な業務が経営課題となっているといった課題を持っている企業に最適で、自分で簡単に業務を自動化できるようにするサービスとなる。



■ユニバーサルロボット (ブース28-24)

ユニバーサルロボットは、可搬重量20kgと、リーチ1750mmながら64kgと軽量の最新製品UR20を活用したパレタイジングの他、高トルクのネジ締めや、加工機へのワークの投入・取り出し、PLCレスで構築するワーク搬送・組立システム、AI画像処理を用いた高速ワーク仕分けシステム、協働ロボットによるレーザー加工の自動化など、製造現場への導入をイメージした6種のデモを展示する。



[名古屋 スマート物流EXPO]

■Exotec Nihon (ブース24-6)

Exotec Nihonは、3次元立体走行自動搬送ロボット「Skypod」の実機を展示し、Skypodロボットが自走し、自らラックを昇降して商材を取り出す様子のデモを行う。

Skypodは、最先端のロボット工学の柔軟性と、高性能の従来型オートメーション技術を独自に組み合わせた自動ピッキングソリューションで、3次元立体走行可能な柔軟性に優れた自動搬送ロボットが注文品を保管棚(ラック)まで取りに行き、オペレーターのいるステーションまで搬送するGTP (Goods to person) 方式の倉庫内保管・注文処理システムで、倉庫の自動化・効率化を目指している。



■オートストアシステム (ブース22-38) オートストアシステムは、特徴的なワークステーションを備えたコンベアポート、カーセルポートを展示する。コンベアポートは最もシンプルな形のワークステーションで、ピンはコンベア上に落とされ、グリッドの外側の開口部に移動する。カーセルポートは、ロボットと連携して常に次のピンを準備できるよ



うに、オペレーターと連動するよう設計されており、全方向に自由にスライドする再設計された安全カバーと、緊急停止オプションが追加された新しい安全ボックスを備えている。

■リンクス (ブース23-34)

リンクスは、「iRAYPLE棚搬送型AMR」を用いた棚搬送フリーロケーションデモなどを展示するほか、3DセンサーGocator「荷物サイズ計測ユニットforコンベア」を使い、ベルトコンベア上を流れる荷物をGocatorで瞬時に3Dサイズ計測し、iRAYPLEのコードリーダーでバーコードを読み取り、荷物情報と関連づけるシステム、豊富なラインナップと強力な読み取り機能を備えた「iRAYPLEコードリーダー」、ソフトPLC CODESYS搭載IIoT対応一体型PLCの「TRITON」と「iRAYPLEコードリーダー」を組み合わせるソリューションなどを提案する。

工場をいろんな無線でつなぎます

ADVANTECH

Enabling an Intelligent Planet

WISE-4610 (LoRaWAN) WISE-4671 (NB-IoT/LTE-M)

ECU-1051 (LTE/Wi-Fi) ECU-150 (LTE/Wi-Fi) ECU-1252 (LTE/Wi-Fi/CAN) エッジゲートウェイ



WISE-4220 (Wi-Fi 2.4G) WISE-4210 (SUB-G) WISE-4471 (NB-IoT/LTE-M)

WISE-40XX (Wi-Fi 2.4G)

WISE-S100 タワーライトセンサ後付け

WISE-2410 (LoRaWAN) WISE-2410X (LoRaWAN) 振動センサ電池駆動型

WISE-2210 (SUB-G) WISE-2211 (SUB-G) WISE-2200-M (LoRaWAN) CT給電対応/アナログ入力

いろいろ選択可能な入出力を提供

アドバンテック株式会社 https://www.advantech.com/ja-jp/



[東京本社] 〒111-0032 東京都台東区浅草6-16-3

TEL: 03-6802-1021 FAX: 03-6802-1022

[大阪支店] TEL: 06-6267-1887 FAX: 06-6267-1886

[名古屋支店] TEL: 052-291-4860 FAX: 052-291-4861

工場新設・増設、設備投資情報

オートメーション新聞WEB URL付き記事はこちらから→https://www.automation-news.jp/category/factory/

国内

■AeroEdge、栃木県足利市に航空機エンジン部品生産の新工場建設中

AeroEdgeは、栃木県足利市寺岡町に新工場を建設する。同社は、商業用航空機である仏エアバス社製A320neoファミリー機と米ボーイング社製737MAX機に搭載されるLEAPエンジン用部品のチタンアルミブレードの量産・販売を主力事業とし、新工場では航空機エンジン部品の新規量産技術の開発とチタンアルミブレード以外の新たな量産事業を展開することを目指す。投資予定額は18億8300万円。2024年6月投資完了予定。



■住友重機械モダン、千葉県富津市にプラスチック押出成形機の金型生産に特化した新工場オープン

住友重機械モダンは、千葉県富津市にプラスチック押出成形機の金型生産に特化した富津第二工場を新設した。新工場では生産する金型は、プラスチック押出成形機の要となるもので、これまで横浜・千葉などの複数の拠点で生産してきた。新工場開設に伴って分散生産を一拠点に集約することで生産効率を上げ、最重要部位を全て新工場内で生産できる体制になる。敷地面積は9332平方メートル、建屋面積は3979平方メートル。

■クボタ、大阪府枚方市の枚方製造所で石油化学プラント用反応管の生産能力を増強

クボタは、主力工場の大阪府枚方市の枚方製造所に生産ラインを増設し、石油化学プラント用の反応管の生産能力を増強する。石油化学プラントの新設や設備更新に伴う需要拡大に加え、カーボンニュートラルにおける新エネルギーとして注目されている水素製造工程などにおける需要を見据えたもので、枚方製造所の年間生産能力を現在の約180%に引き上げる。2026年4月稼働開始予定。投資額は、約44.5億円。

■富士フイルム、神奈川県南足柄市の神奈川事業場足柄サイトにてチェキフィルムの生産設備を増強

富士フイルムは、INSTAX チェキ、の世界的な需要増に合わせ、神奈川県南足柄市中沼210)に約45億円を投じてチェキフィルムの生産設備を増強する。2024年秋より順次稼働する予定で、これによりチェキフィルムの生産能力は約2割向上することとなる。

Fukunishi 人・技術・情報の架け橋となり、最適解で「福」あふれる未来をつくる。 福西電機株式会社

INSTAXは、1998年に発売したアナログインスタントカメラで、日本ではチェキの名称で知られている。現在はアナログインスタントカメラからハイブリッドインスタントカメラ、スマホプリンターへとラインアップを拡充し、グローバルでも日本からスタートして現在はヨーロッパ・アメリカ・中国・東南アジアなど世界100か国以上で展開している。

■フジテック、滋賀県彦根市の本社敷地内にエレベーター部品の品質に特化した解析・評価センターを建設

フジテックは、エレベーターの部品解析・評価センター「(仮称)品質ラボ棟計画」を、滋賀県彦根市にある本社・研究開発・生産拠点「ビッグウィング」の敷地内に建設する。



同施設は、エレベーター各種部品の性能・信頼性・安全性を評価する実験設備や、走行テストなどを行う検証用のエレベーターを備える。従来は商品開発における技術の機能評価と一体となって進めてきた実験・検証を、本施設にて品質面に特化して行うことで、品質管理の強化や商品の性能・信頼性の向上につなげ、据付工事の効率化に向けた工夫ならびに既設昇降機の品質担保に関する検証も行う。2025年2月の完成予定。

■トクヤマ・チヨダジブサム、北海道室蘭市に廃石膏ボードの再資源化の新工場

廃石膏ボードの再資源化を事業とするトクヤマ・チヨダジブサムは、三重本社工場、千葉県の関東工場に続く第三の拠点として建設を進めていた室蘭工場(北海道室蘭市崎守町)が稼働開始した。新工場では、北海道一円から廃石膏ボードを収集し、再結晶化した二水石膏の製造・販売する。住宅の壁や天井などの防火材として広く普及している石膏ボードは、リフォームや解体により廃棄量が年々増加し、道内でも埋め立て処分場の確保などに課題が大きくなり、リサイクルへの期待が高まっている。

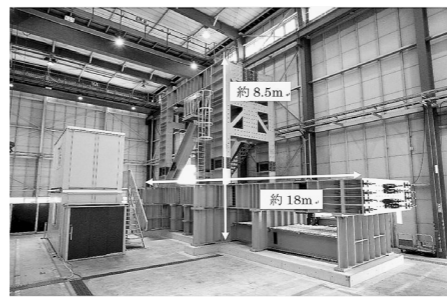
■木村工機、大阪府八尾市の八尾製作所に工場棟建設

業務用空調機メーカーの木村工機は、大阪府八尾市北久宝寺の八尾製作所に新工場棟を建設する。八尾製作所は複数の建物で構成され、その多くは竣工後60年近くが経過していることから、生産効率の向上を目指し、順次建て替える予定。主工場棟と管理棟の建て替え工事が順調に進捗しており、経済活動も正常化し受注も堅調に推移していることなどから工場棟の建設に着手することとした。新工場は2階建て延床面積2465平方メートル。完成は2025年10月の予定。

■日鉄エンジニアリング、千葉県富津市に座屈拘束プレースの実大試験設備を新設

日鉄エンジニアリングは、千葉県富津市の日本製鉄技術開発本部REセンター内に座屈高速プレース「アンボンドプレース(UBB)」の実大試験を行う一軸

・斜め載荷試験機を新設した。UBBは、地震の揺れから建物を守る建築部材で主に建物の筋交い材に用いられ、軸力を負担する中心鋼材(鋼板)をモルタルと鋼管で拘束した座屈拘束プレース。これまで性能試験を自社試験機(一軸、最大軸力土3000kN)、と海外の大型試験機を使って行ってきたが、さらなる技術データの取得・分析やUBBの大型化に伴う大軸力への対応を実現する新試験機を導入した。



■川島食品、北海道釧路市に食肉加工品の新工場建設

川島食品は、北海道釧路市益浦に食肉加工と食肉加工品製造の新工場を建設する。同社は、イタリア料理店やフランス料理店などのレストランを顧客とする精肉卸売業で、新工場の建設によってレストラン向けの食肉加工品の製造を行うことでレストランの人手不足をサポートし、合わせて一般消費者向け商品も製造も行う。また北海道で一番多いジビエ肉であるエゾシカ肉の安定供給に向けた処理施設としても機能も担う。初期投資は39億円。敷地面積は8287.31平方メートル、延床面積は3429.76平方メートル。10月に着工し、2024年10月に竣工し、2024年11月に稼働開始予定。

■PSジャパン、岡山県倉敷市の水島工場にポリスチレン樹脂のケミカルリサイクル実証設備を新設

PSジャパンは、岡山県倉敷市の水島工場にポリスチレン(PS)樹脂のケミカルリサイクル(CR)実証設備を新設した。PS樹脂は、食品容器包装をはじめ、家電製品や産業資材製品に使われ、従来は焼却処分されていた。PS樹脂が食品容器包装にも使え、PS樹脂製食品容器包装の水平リサイクルに道を開くものとなる。今後実証運転を進め、使用済みのPS製品の再資源化によるスチレン資源循環システムの構築を本格化させる。



■日新電機、京都市の本社工場に蓄電池システムを導入 再エネアグリゲーション実証

日新電機は、本社敷地内に蓄電池システムを導入し、再生可能エネルギー(再エネ)アグリゲーション実証に取り組む。同社は需要側の調整力として本社敷地内に自社開発の蓄電池用パワーコンディショナ(PCS)にリチウムイオン蓄電池を組み合わせた蓄電池システムを導入し、再エネアグリゲーション実証として、再エネアグリゲータ、自治体と連携した需給調整を行い、再エネアグリゲータからの調整指令に対する応答性能や蓄電池の価値を高める事業モデルの検討などを実施する。着工は2023年9月、運転開始は12月を予定している。

海外

■トヨタ紡織、広東省広州市に自動車内装品の新工場

トヨタ紡織の中国子会社の広州桜泰汽車飾件有限公司は、中国広州市の小虎島工業団地に新工場建設する。新工場は、今後の生産能力増強に備えるとともに、広州地区の自動車部品の物流効率化と競争力向上を目指す。建屋は2024年9月に完成させ、2024年以降にシートやドアトリムなどの生産を開始して、广汽トヨタ自動車に供給する予定。鉄骨造地上2階建てで、敷地面積は約8万2000平方メートルで、延床面積は約5万5800平方メートル。



■JFE商事、メキシコ・グアナファト州でレーザーブランクングライン導入

JFE商事のメキシコのグループ会社のJFE Shoji Steel Service Center Bajio (JSSB)は、レーザーブランクングラインを導入する。今回の設備投資によりスリット加工に加え、ブランクング加工も可能となる。同設備はレーザーによってブランクング加工を行うため、顧客による金型の製造やメンテナンス、保管場所が不要となるだけでなく、加工の制約がなくなることにより、ニーズに対して柔軟に対応できる体制となる。稼働開始は2024年6月を予定している。

■島津製作所、中国での質量分析計の生産強化に向けて蘇州の工場を拡張

島津製作所は、液体クロマトグラフ質量分析計(LC-MS)とガスクロマトグラフ質量分析計(GC-MS)の安定的な供給に向けて、中国国内で質量分析計の上位機種種の製造を開始する。同国ではLC-MSやGC-MSの臨床向け需要が増大し、中国政府も国産医療機器を優遇する「輸入品の政府調達に関する監査ガイドライン」を2021年5月に発表しており、分析機器、医療機器における政府調達時の国産品比率の目安が示されている。これに対し同社は、2022年10月から試験的にLC-MSやGC-MSを中国で製造を開始しており、今秋より本格的に生産・出荷を開始する。製造を担当する島津儀器(蘇州)有限公司(SSM)は、同社が中国で販売する分析計測製品の約2割を製造する工場で、LC-MSに加えてGC-MS、ガスクロマトグラフ(GC)、エネルギー分散型蛍光X線分析装置(EDX)などの上位機種種の製造開始に伴って、2024年夏の竣工を目指し工場を拡張していく。投資額は約30億円。

Just in your products Just Products 挑戦する盤メーカーをサポートする会社 コスト、生産性、脱炭素。それだけにどどまらない、鋼バー加工の外注化のメリットをお伝えします。 株式会社ジャストプロダクツ



世界の製造業が採用 IPC 品質標準規格



グローバルに通用する製品品質を備え、世界各地での躍の第一歩に



ジャパンユニックスではIPCの標準規格書・情報・サービスを提供しています

はんだ付工程を 見える化する

卓上型はんだ付ロボット UNIX-DF シリーズ

- 『Soldering Manager』でははんだ付のIoT化へ ジャパンユニックス独自のはんだ付ロボット管理ソフトウェア・『Soldering Manager』を使用して モニタリング・稼働ログの保存が可能
●3D ソルダリングの実現 付加軸2軸を加えた6軸同時制御により ロボット操作のみで複雑形状の製品へのはんだ付が容易に



IPC 標準規格書 無料版 まずはwebからダウンロード 『IPC』『規格』『無料』で 検索

ジャパンユニックス製品 導入事例集 webにて公開 『はんだ付 導入事例』で 検索